

貫井の風

令和元年度 10月号

NO. 6

練馬区立貫井中学校 学校だより

「弱気は最大の敵」 ～炎のストッパー津田恒美～

校長 桐野 和之

プロ野球は大勢の人が関心をもつ国民的なスポーツです。

ふるさとと家族を愛し、燃える闘志と不屈の努力で自分にも相手バッターにも立ち向かったピッチャーに、元広島カープの津田恒美という投手がいました。津田投手は今から約60年前の1960年、現在の周南市の和田という山あいの農家で生まれました。小さい頃はおとなしく目立たない存在でしたが、おじさんからお古のグローブをもらったことで野球を始め、少しずつ変わっていきます。学校から帰って同級生と田んぼでキャッチボールをして遊ぶうちにめきめきと力を付けてきました。全校生徒100名足らずという小さな和田中学校に進学してから軟式野球部に所属し、一年生のときからエースとして活躍しました。三年生の地区大会で決勝戦まで進出します。試合は0対0の引き分けで、結局じゃんけんで負けましたが、津田投手に大きな注目が集まることとなりました。



南陽工業高校に進学してからは下宿生活をしながら甲子園を目指しました。人として大変素直で、どの選手にも気を配る優しい性格でしたが、その反面、球はとても速いがコントロールが悪く、ピンチになると落ち着きを失い、ストライクが入らなくなってしまうという大きな欠点がありました。ところが、二年生のときの山口県大会で、何と一人のランナーも出さないという完全試合を達成したことで自信をもちます。それ以来、津田投手に「弱気は最大の敵」という生き方の柱ができます。あっという間に高校野球界屈指のピッチャーになりました。三年生では春、夏の甲子園大会に出場し、ベスト8まで勝ち進んだのです。三年生の夏、プロ野球12球団のうち、九つの球団からドラフト1位で指名させてほしいとあいさつがありました。しかし、津田投手は「僕の家は農業。農繁期はどこにいても手伝いに帰らないといけないから」とプロ野球を断り、社会人チームの協和発酵に入ります。入社後、社会人野球で大活躍し再び注目され、三年後プロ野球広島カープに入ります。広島カープを選んだのも家から近いという理由でした。

プロ一年目、球団史上初の新人王タイトルを獲得します。しかし、その後数々のケガが津田投手を苦しめます。でもその都度「弱気は最大の敵」の考えもと立ち直っています。五年後、先発からリリーフに変わります。右腕からたたきつける150キロ台の直球と闘志むき出しの姿で相手バッターを次々と打ち取り、「炎のストッパー」と呼ばれるようになりました。たくさんのタイトルも取りました。投げる玉は9割が直球、自分の弱さと闘うために、直球勝負にこだわったのです。その津田投手が三十一歳の時、脳に病気が見つかります。余命半年と言われる治らない病気です。ここから、もう一度マウンドに立って投げたいという驚異的な意志で一年後、三歳の息子と公園でキャッチボールができるようになるまで回復します。しかし、その年三十二歳の若さで亡くなります。



津田投手の人柄、生き方は多くの人の心を打ちます。多くのことを教えてくれます。母校の和田中学校には「弱気は最大の敵」と刻まれた石碑が、そして、広島カープのホーム球場、マツダスタジアムのブルペンには「直球勝負～笑顔と闘志を忘れないために」と記されたプレートがあることから分かります。

「修学旅行を終えて」

第3学年教諭

生徒昇降口から3学年フロアのある2階に上がる掲示板に「和・知・楽・誠 ～見せつけましょう 三年間の集大成を～」というポスターがある。中学校最後の運動会を終えてまもなく掲示され、毎日のように私たちが目にするスローガンとなった。一つ一つの漢字がもつ意味と、ここまで共に過ごした二年と半年間をイメージしながら当日を迎えた。

休日にしか訪れることの無かった丸の内地下の無機質なコンコースが、他校の修学旅行生たちで熱気に満ちている。到着した班が我々の姿を見つけ、次々と大きな笑顔で小走りに駆けてくる。早朝から通勤客に揉まれる中、「よく来たね!」とこちらも笑顔になった。

貫井中で実践しているあいさつや、話す、聞く態度は、多数の人々が行き交う駅構内はもちろん、見学地や宿舎において、周囲を把握し場に応じた適切な立ち居振る舞いとして活かされていた。このメンバーと共に過ごしている時間を、私は随所で喜びに感じていた。

知らない土地において、仲間といろいろな価値観を共有し、試行錯誤する。実践し振り返り、次につなげる。まさに二年と半年間、学習面や生活面で得た普段の集団生活の成果がそこに表れていた。

最終日、「家族のように過ごしたこの仲間とも、あと数時間でバラバラだな。」と、当たり前のことを思いつつも、翌日の土曜授業に向けて「また明日!」と別れる。六か月後の卒業式には「また明日!」がないことを改めて自覚した。



「川越校外学習を終えて」

第1学年教諭



1学年は校外学習として、9月17日(火)に埼玉県川越市へ行ってきました。心配だったお天気も当日は晴天となり、残暑の感じられる中での校外学習となりました。

中村橋駅から班行動を始めたのですが、駅付近での最初のチェックポイントでは少し緊張しながらチェックを受ける生徒が多く、い

つもの学校内での雰囲気ではなく落ち着いた様子でした。

今回は中学生になって初めての校外での活動でした。先生たちがチェックポイントにいる程度で、ほぼ大人の目の届かない中でルールを守り、トラブルは班で解決をし、しっかり



最後まで班行動を行えるかが目的でもありました。

予定通りに計画が進まなかったり、班がはぐれてしまったりと多少のトラブルはありましたが、見学施設であいさつをしっかりと行っている生徒や、川越の様子をカメラでしっかりと撮っている生徒、地図を見ながら班で相談している班など、貫井中学校の生徒としてしっかりと行動をしている姿も見られました。

また、買ったお土産について嬉しそうに説明してくれる生徒や、持ってきたお弁当を楽しそうに友達と食べている様子等がみられました。

最後はどの班も班でまとまって帰ってくることができました。「小江戸」と称されている川越は蔵造りの町並みが魅力の、東京ではあまり見ることのできない江戸の雰囲気を感じられる歴史のある町です。今回は、普段の学校生活や自分達の住んでいる町とは全く違った雰囲気の中での活動でした。その中で班行動を通して、班で行動をすることの難しさを知り、歴史や文化を学ぶ機会をもてたことは生徒たちにとって、とても貴重な経験だったと思います。

1学年は今、校外学習を終えて、事後学習として、見たり聞いたりしてきたことを新聞まとめる取り組みをしています。



『パラ・パワーリフティング』

パラリンピック競技応援校推進授業

副校長 田中 すみ子

「パラ・パワーリフティング」、それは『緊迫・爆発・歓喜』の3秒ドラマ。胸・肩・三頭筋を使った、腕力だけの勝負。スポーツジムなどで見かけたことがある「ベンチプレス」の競技（ベンチ台に横たわって脚にベルトをまいて体を固定し、バーベルを押し上げ腕を伸ばす）で、下肢に障がいのある方が対象です。

車いすで現れた青年のお名前は、奥村一樹さん、大学生で、このパラ・パワーリフティングの選手です。同行してくださったのは、パラ・パワーリフティング連盟事務局の荒川龍一さんと木村晴斗さん、そして応援サポーターの林誠さんです。

4校時、本校体育館に全校生徒が集まり、パラリンピック競技応援校推進授業の始まりです。冒頭、副校長が本日のゲストアスリートのみなさんを紹介する際、二の腕の太さを比べてビックリ、副校長の4倍くらいの腕の太さでした。そして、講演会とパフォーマンスが始まるのもっとビックリ。奥村選手が、車いすごと逆立ちをして歩き始めたのです。体育館中に大きな拍手が響きました。

バーベルのバーだけでも、20kg、両脇の車輪のような円形の重りはそれぞれ20kg、段々と重りを足していったら、120kgものバーベルを持ち上げる様子を披露してくれました。続いて、本校の生徒たち10名がチャレンジします。中にはキャシャな体つきの生徒や女子生徒もいます。果たして持ち上がるのでしょうか？結果は・・・お見事！全員が20kgをクリア。40kgに挑戦する生徒、それ以上に挑戦する生徒。最高記録



は70kg!これには、連盟事務局の方々も「貫井中は、力のある生徒が多いですね。」とおっしゃっていました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、日本中が盛り上がりを見せる中、貫井中学校も「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」「パラリンピック競技応援校」として、様々な取り組みをしています。この日のパラリンピック競技応援校推進授業も、その取組のひとつです。ふだんはあまり馴染みのないパラ・パワーリフティングに触れながら、本校の生徒たちは、来年の東京2020大会への期待を膨らませているところです。

部活動等の報告

陸上競技部

◇練馬区中学校生徒総合体育大会 陸上競技大会 9月20日(金)

- ・共通女子200m 3位 2年 小松 優花
- ・2年男子走り幅跳び 2位 2年 安納 潤之佑 6位 2年 新 大輝
- ・3年男子走り幅跳び 2位 3年 安納 隆一郎
- ・2年100mH 3位 3年 坂本 翼 ・3年男子100m 5位 3年 成田 航輝
- ・共通男子4×100mR 1位 安納 潤之佑・安納 隆一郎・成田 航輝・山根 幹太
- ・共通女子4×100mR 6位 野田 実央・原 えりか・小松 優花・河野 史歩

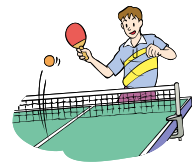
◇練馬区民体育大会 10月5日(土)・6日(日)

- ・中学男子 走り幅跳び 優勝 安納 隆一郎
- ・中学男子3年 100m 優勝 成田 航輝 ・中学男子2年 100m 2位 安納 潤之佑
- ・中学男子2年 1500m 3位 坂本 翼 ・中学男子 走り幅跳び 3位 新 大輝
- ・中学女子2年 100m 3位 原 えりか ・中学男子 砲丸投げ 3位 大崎 亮輔
- ・中学女子1年 800m 3位 豊田 舞未
- ・中学男子4×100mリレー 優勝 山根・成田・安納(潤)・安納(隆)
- ・中学女子4×100mリレー 優勝 河野・原・野田・小松

卓球部

◇練馬区民体育大会 10月5日(土)・6日(日)

- ・男子シングルス 第3位 松原 大芽 第5位 関口 恭央
- 第9位 前山 颯汰 ・橋本 伊央里
- ・男子団体 優勝 準決勝 貫井中3-0中村中 決勝 貫井中3-1大泉中
- 関口 恭央・松原 大芽・山根 侑大・前山 颯汰・橋本 伊央里
- 山縣 碧 ・黒木 咲玖・江藤 陸



バスケットボール部

◇練馬区民体育大会 8月25日(日)～9月15日(日)

- ・男子 第3位 準々決勝 貫井中63-76石神井中 準決勝 貫井中55-83田柄中
- ・女子 ベスト8 準々決勝 貫井中15-86谷原中

バドミントン部

◇第48回城北オープン中学校バドミントン大会 9月15日(日)

結果：女子団体 *ベスト16 2回戦 貫井中0-2志村四中



剣道部

◇練馬区中学校秋季剣道大会 9月29日(日)

- ・男子団体 予選リーグ敗退 ・女子団体 予選リーグ敗退

水泳

◇東京都中学校学年別水泳競技大会 9月15日(日)

- ・1年男子 背泳ぎ100m 7位 加瀬 拓暁
- ・3年男子 背泳ぎ50m 4位 関口 優風
- ・2年男子 平泳ぎ50m 2位 横田 篤郎

